

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和6年度 第1回入間市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和6年6月28日(金) 午後2時開会 午後3時30分閉会
開 催 場 所	入間市庁舎C棟5階501会議室
議 長 氏 名	齋木 茂
出席委員(者)氏名	菱さより 飯塚一博 安藤龍嗣 佐藤清美 齋木 茂 根岸 桜 長澤健次 西村めぐみ 齋藤勝久 村野裕子 幸森康夫 宮崎和子
欠席委員(者)氏名	吉野 勝 田辺暁己 白木賢信
説明者の職氏名	片寄社会教育課副主幹
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(社会教育委員会議 すべて公開) 次第 1 開 会 2 新委員委嘱状交付 3 新委員自己紹介 4 議長あいさつ 5 事務局紹介 6 協議事項 (1) 社会教育関係団体補助金について (2) 公民館活動団体の減少について 7 報告事項 (1) 各委員からの活動報告 (2) 教育部社会教育担当各課からの報告 8 その他 ・次回の会議日程について 9 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0 人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	浅見教育部長、浅川社会教育課長、 大久保博物館長、平岡図書館長、 奥村社会教育課主幹、片寄社会教育課副主幹、 大久保社会教育指導員、浅見社会教育指導員

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

- 1 部長より、社会教育委員委嘱状を新任委員へ交付した。
- 2 協議事項
 - (1) 社会教育関係団体補助金について 事務局 片寄副主幹より説明
 - (2) 公民館活動団体の減少について 事務局 片寄副主幹より説明
- 3 報告事項
 - (1) 各委員からの活動報告
 - (2) 教育部社会教育担当課からの報告
 - ①社会教育課 浅川社会教育課長
 - (i) 報告事項
 - ・ 入間市地域学校協働活動推進員の委嘱について
 - (ii) 配付資料
 - ・ 入間地区社会教育広報「さわらび」 第56号
 - ・ 社教連会報 No.94
 - ・ 社教情報 No.90
 - ・ キッズ・アート・ギャラリー
 - ・ 入間書人展
 - ・ 美術展
 - ・ 写真美術展
 - ②博物館 大久保博物館長
 - (i) 報告事項
 - ・ 「ALIT お茶大学」開講について
 - ・ 「夏休みこどもお茶大学」実施について
 - ・ 新一万円札発行記念イベント「くろぎんまつり」
 - ・ 「入間市西洋館の日2024」特別イベントについて
 - ・ 博物館学芸員実習生の受け入れ
 - (ii) 配付資料
 - ・ 「旧石川組製糸西洋館 2024年一般公開」のちらし
 - ・ 「くろぎんまつり」「入間市西洋館の日2024」のちらし
 - ・ 「NEWS-ALIT」第115号
 - ③図書館 平岡図書館長
 - (i) 報告事項
 - ・ 図書館金子分館の臨時休館について
 - ・ クラウドファンディング型ふるさと納税事業について
 - (ii) 配付資料
 - ・ 図書館だより4月号
- 4 その他
 - ・ 次回会議の日程について

第2回 令和6年9月27日(金) 午前10時～11時30分
入間市庁舎 5階 501会議室

5 閉 会

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
齋 木 議 長 片寄副主幹 齋 木 議 長 幸 森 委 員	協議事項(1)社会教育関係団体補助金について、事務局より説明を願う。 資料に沿って説明 事務局より説明があったが何かあるか。 ゼロベースで見直したとのことだが、教育委員会関係で3つ、市長部局で5つの団体が減額となっている。教育関係の減額が大きい、ゼロベースで考えた結果ということか。
片寄副主幹	ゼロベースで検討はしているが、必要不可欠と判断しこの状況となっている。ただ、毎年補助金の見直しをしており、来年度もこの金額より減額していくことも予想される。今後もゼロベースで見直していく。
齋 藤 委 員	質問が2つあるのだが、まず、表の団体数は、毎年同じなのか、それとも新たに見直しがされているのか。次に、佐渡市との姉妹都市交流事業で、入間市陸上競技協会から西武スポーツ協会に名前が変わっているのはなぜか。
片寄副主幹	団体数については、教育委員会所管の入間市文化協会について、下部組織があり数の増減がある。補助金額は、各地区文化協会内の郷土芸能連合会や合唱連盟等に配付している額の総額である。その中で、公民館の文化祭の実行委員会などがなくなった場合、例えば、久保稲荷公民館まつりの実行委員会がなくなったので減となっている。そうした入間市文化協会の中では多少増減があるが、その他の団体については、増減は特にない。佐渡市との姉妹都市交流事業については、令和5年度は入間市陸上競技協会が佐渡市に派遣された。令和6年度は西武スポーツ協会が派遣されるということである。
齋 木 議 長	教育関係団体の残金が補助金額の2倍以上になった場合、翌年度補助金をカットするとかあるのか。市長部局にはあるようだが。
片寄副主幹	そういった決まりはないが、残額等はほとんどない状態である。
村 野 委 員	昨年度の資料を見ると、ドラマフェスタが令和4年度80万円、令和5年度60万円、令和6年度40万円とすごく減っているのはどのような理由か。
奥 村 主 幹	ドラマフェスタは、以前は中央公民館が支えていたものだが社会教育課へ移管した。補助金の見直しが毎年言われている中で、他団体と比べて非常に高いということから自立を促すという形で実行委員会と話し合いを何度も重ねて減額となった。
齋 木 議 長	では、続いて協議事項(2)公民館活動団体の減少について、事務局より説明を願う。
片寄副主幹	資料に沿って説明。
齋 木 議 長	事務局より説明があったが何か意見、質問はあるか。
村 野 委 員	公民館運営審議会と地区センター運営検討委員会の違いは何か。
片寄副主幹	公民館運営審議会は、各公民館の運営委員から代表1名を選出していただいております、校長会からの参加者1名と合わせて10名で構成されている。公民館の運営、事業計画等について審議いただいている。地区センター運営検討委員会は、市役所内の組織で関係課の課長をはじめとして市職員で構成されており、今後の地区センターの運営についての会議となっている。
村 野 委 員	これを協議するという事はサークルの減少が問題だと考えているからだと思うが、なぜ減少が問題なのか教えていただきたい。

発言者	発 言 内 容
浅 川 課 長	人口減少の影響もあるが、サークル活動は、ある意味、社会教育のバロメーターでもあると考えている。ご存知とは思いますが、担い手が少なかったり、年齢構成などが偏った活動になったりしているということがある。若い方や中堅の方が、こういった社会教育の場において人間関係づくりを進め、地域に関わっていくことで、新しい地域づくりができると考えられ、その観点から、活動の基礎となるサークル数は、ある程度減るのは仕方がないが、一定数は維持されるべきものと考えて提案させていただいた。
村 野 委 員	私も公民館活動は大切だと思っていて、いい地域づくりの基盤だと思うのでここで考えていこうというのはよいと思う。
幸 森 委 員	なぜ減少しているかの調査はしているか、減少傾向の団体とか把握しているか。
浅 川 課 長	統計的な調査はしていないが、今後、生涯学習の計画、公民館の計画を作る中で、そういった調査は検討していく。現状で把握しているのは、現場の職員からは団体の人からのもう人がいなくてできないといった声なども聞いている。そういう点では、様々な世代の方が利用されるような団体もあっていいのではないかと思う。感覚としては、高齢の方のニーズが今は高いかと思う。
安 藤 委 員	人がいないとは、指導者がいないのか、それとも参加者がいないのか。
浅 川 課 長	両方である。興味を持って関わってもらわなければならない。関わってもらえなければ、興味を持ってもらえないし、参加者も講師もないものとする。
安 藤 委 員	学校も入れないと思っていたくらいである。公民館のことを知らないと思う。もっと学校にもPRしていくべきかと思う。
齋 藤 委 員	サークル数の定義としては、有料でやっている活動なのか、それとも我々や包括支援センター、社協などの活動なのか、どういった活動なのか。
奥 村 主 幹	サークルの定義としてはいくつかあって、地域振興課では減免措置扱いでいわゆる習い事などの趣味的なサークルを定期利用減免団体と呼んでいるが、資料の表は各公民館それぞれがサークルとして判断した団体の数である。
齋 藤 委 員	なぜかという、藤沢公民館では中々取れない状況なので、こういうのを見るとサークルという数字の取り方が違うのかなと思ったからである。
浅 川 課 長	サークルに関しては、基本的には5人を目安としているが、少人数の団体が増えている。新しい団体も入っていない。空いていないことも影響しているのかもしれないが、それも含めて、新しいいろいろな団体が活発に活動していけるようになるにはどうしたらいいか、考えていきたい。
齋 藤 委 員	ある特定の大きな団体が使っていて駐車場にとめられないという苦情がよく来る。支所については時間はそうかからないが、ちょっと使いたくても車がとめられないとかがある。その状況と、あれ、なんか違うなと感じたので質問した。
齋 木 議 長	他にあるか。なければこれで協議事項を終了する、 続いて、報告事項（１）各委員からの活動報告を2分以内で願う。
根 岸 委 員	入間市子ども会からの報告である。3月に県のかかる大会に参加した。本市が個人の部、1位、2位、3位、5位に入賞した。保護者の方や中学生、高校生のジュニアリーダーが頑張っていて、今年もそこを目指していこうと思う。
村 野 委 員	こども食堂ネットワークいるまの新しいパンフレットをお配りした。たくさんの団体が所属しており、ここに掲載していないところがこの他に3つある。裏面だが

発言者	発 言 内 容
佐 藤 委 員	KUROKO プロジェクトを今年もやらせていただく。今年度は各学校にも協力いただき、市内全部の小中学校にレトルト食品を置かせていただき、学校でお腹の空いた子がいたら活用していただく。他にも児童センターや藤沢図書館にも協力いただいている。もし困っている子どもの声を聞いたら学校に相談してごらんと声をかけていただきたい。
安 藤 委 員	茶道連盟からだが、公民館のサークル活動が減っているとの話のときに、まさに茶道もそうなんだよなと思って、どきっとした。お茶の世界も高齢化している。会員数も減っている。どうしたら若い方に入っていただけるか、興味を持って伝統文化を引き継いでもらうかということが課題である。今日のことを持ち帰って、茶道連盟としての意見も出したい。入間市は茶の産地であり、秋の大茶会など、委員の皆様にもお声掛けをいただいて盛り上げていきたい。
飯 嶋 委 員	野球部は抽選の結果 7 月 1 1 日に開会式で選手宣誓を行う。1 4 日に試合がありテレビ中継もされるので応援をお願いしたい。
浅 川 課 長	この会に初めて参加するのでわからないこともありお聞きしたい。高齢化していてサークル数が減少しているとのことだが、少子高齢化で退職した人などは増えているのにやる人が減っているのは、どういうことなのか。もう一つは、地域活動を支える人材とあるが、地域活動を具体的に指すものは何か。サークル活動を指すのか。地域貢献とは何を指しているのか。例えば、先日、東金子で出前年長者はつらつ講座というのがあり中学生も参加して SNS の使い方を教えたりしたが、そういうものを指しているのか。他の地区で校長の時に地域のサークルの方に学校に入ってもらようようお願いするために公民館を回ったが、確かにどんどん減っている。本校では、東金子写真クラブの方に授業に入ってもらったり展覧会をやったりしているが、そういうことか。教えていただきたい。
齋 木 議 長 浅 川 課 長	地域の担い手について、以前は地域のことをよく知っている方がいて相談に乗っていたりしたが、今は少なくなっている。それを補うのが公民館であると考え、公民館での活動、サークル活動などで公民館職員が活動の相談に乗ったりして、様々な活動があることで先ほどの写真クラブのような活動ができる。そこでは地域の長のような方とともに公民館を中心に動いていただく必要があるんじゃないかと思っている。地域活動を具体的にとのことだが、先ほどご紹介いただいたように中学生が高齢者に教えたとの話も地域活動であるし、それがサークル活動の方が教えるというのもひとつである。その選択肢を広げていくためには、活動が必要である。確かに高齢化し少なくなっていくのは仕方のない事だが、ある程度動ける方に活動をしていただきたい。若い人に地域に関心を持ってもらえるようにしていく事が解決の一つになるのではないか。
	続いて、報告事項（2）教育部社会教育担当各課から報告を願う。 社会教育課からだが、学校ではコミュニティ・スクールとして学校運営協議会が置かれ、地域では地域学校協働活動を進めるところであり、ここで学校と地域のつなぎ役である入間市地域学校協働活動推進員を全 1 1 中学校区に配置した。始まったばかりの活動であるが、ご協力をお願いしたい。5 月 1 7 日に委嘱状交付式及び研修会を実施した。また、7 月 9 日に地域交流研修会を開催する。本日の配付資料の中ではキッズアートギャラリーが 3 0 回目となる。お越しいただきたい。

発言者	発言内容
大久保館長	博物館からは5点連絡させていただく。まず、「ALITお茶大学」について、地域を知る、お茶を楽しむをテーマに、20期目を迎えた。開催期間は5月11日から12月7日まで、全13講座を予定している。現在のところ、募集人数715名に対し応募人数922名である。次に、「夏休みこどもお茶大学」を、7月30日、8月1日、2日の午前中に開催予定である。お茶摘みの体験から手もみ茶、お茶のクイズ等子どもたちが楽しくお茶のことを学べる内容である。申込期間はこれからなので多くの参加を願う。次に、渋沢栄一ゆかりの「旧黒須銀行」で、新一万円札発行記念イベントを開催する。お金や銀行をテーマにしたものだが、子どもたちも楽しめるようににぎやかなお祭りという形で開催する。7月6日の10時から3時30分までである。次に、「入間市西洋館の日2024」特別イベントについて、大正10年に上棟されてから今年で103年目を迎え、7月7日の10時から4時まで開催する。入館料は無料で、先着103名まで記念品プレゼントがある。最後に、博物館学芸員実習生の受け入れについて、実習期間は7月23日から8月2日までの10日間で、受入人数は大学生9名である。
平岡館長	図書館からは2点連絡させていただく。まず、図書館金子分館は大規模改修工事のため、5月29日から8月末まで臨時休館となる。この間、地区センター事務所内に臨時窓口を設け、本館や分館からの取り寄せや予約資料の貸し出しを行っている。火曜日から金曜日、午前9時から午後5時までとなっている。大変ご迷惑をおかけするがご理解を賜りたい。次に、市ではクラウドファンディング型ふるさと納税事業を2つ実施しているが、その一つが図書購入事業である。募集期間は令和6年5月31日から7月15日までで、目標額は100万円としている。児童書100冊の購入を予定している。ご協力を願う。
齋木議長 齋藤委員	他にあるか。これらの報告について何かあるか。 社会教育課から報告のあった地域学校協働活動だが、ふじさわ未来ネットでも夢プロジェクトというものを進めてきて、先日市長と教育長を交えて報告会を行った。その中で、9月にシンポジウムがあり、参加することになった。地域と学校についてステップアップし、夏祭りについては地域がやるが、そこに学校も入ってもらう。地区センターとも話して、学校のブースを作ろうと活動している。子どもたちにはポスターやチラシを全面的にお願いしようということで学校にも協力していただいている。フォトスポットを作ろうなど学校からの提案もあり、今回、子どもたちの入った夏祭りになるかと考えている。
齋木議長	他にあるか。なければ、これをもって協議・報告を終了する。ご協力に感謝する。 以下、余白
議事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和6年 7 月 19 日 議長の署名 齋木 茂	